

2階 水芭蕉

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	5		
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
		1 外部 評価 1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・最期まで自分らしく暮らしていけるようにとの想いを理念に掲げ、サービスに努めている。	0		
		2 外部 評価 2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・管理者は職員の入社日研修の中で理念の説明を行い、会議やミーティング前には全員で唱和している。・各ホームに掲示し、出勤時や夜勤時に確認をしている。	0		
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	・入居案内や入居契約時、運営推進会議等で話をするほか、日頃から積極的に地域行事に参加することで、ご家族や地域の方の理解を深めていただけるよう取り組んでいる。地域の方も、同じ地域の住民として利用者とお付き合いをしてくださっている。	0		
		2	2	地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	1	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・ホーム独自の通信【ウィズ奈良屋かわらばん】を月に1回発行し、ご入居者と一緒に配布したり、積極的に地域行事に参加することで顔見知りの関係ができており、買物時や散歩時には挨拶ができています。日常的にホームに立ち寄られることはないが、ホームが主催するイベント等には必ず足を運んでくださっている。	1	・今後も顔見知りの関係を増やしていけるように努めていきたい。	
	5 外部 評価 3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・自治会の総会や地域行事に利用者と共に積極的に参加させていただいており、山笠祭事や清掃活動、地域行事のほか、自治防災組織としての活動も少しずつ取り組むなど、地元の方との交流を深めている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地域 合との	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・毎月発行している通信【ウイズ奈良屋かわらばん】にて、介護豆知識やホームで取り組んで良かったこと等の情報発信を行うようにしている。 ・地域の方と一緒に介護実技を含む防災の勉強会を行うなど親睦を深めている。	0	
	3 理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)			自己評価5項目・外部評価4項目	2	
	3 理念を 実践 する ため の 制 度 の 理 解 と 活 用	7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・評価の内容、意義について、ミーティング等で説明し一緒に話し合いを行うことで改善に取り組んでいるが、全職員が意義を理解しているとは言い難い。	1	・全職員が評価の内容、意義について理解できるよう再度説明するとともに、日頃の意見交換等を更に活発に行うことで、全職員が意義を理解し、積極的に取り組めるようにしていきたい。
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・2ヶ月に1回運営推進会議を実施している。いただいたご意見やアドバイスを元に、サービスの向上に活かせるよう取り組んでいる。	0	
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・民生委員や地域包括支援センターとは日頃から介護相談等で連携を図っているが、市町村との関わりが不十分である。	1	・区役所や保健所等との連携を深め、サービスの質の向上に努めたい。
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・外部研修や内部研修、勉強会等の機会が多く、全職員が制度を理解できることを目標に取り組んでいる。 ・入居契約時には必ず成年後見制度の説明を行い、参考資料等もお渡ししている。	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・外部研修や内部研修で学んだことを元に、日々の生活の中で虐待や抑制に繋がっていないか、会議やミーティングで話し合いを行い、防止に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	1	
理念に基づく運営	4 理念を 実践す るため の体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・契約前に見学と相談時間を設け、説明を行っている。・体験入居をしていただいた上で、契約書に順じた説明を再度させていただき、理解と納得を図るようにしている。疑問点についても、その都度説明を行っている。	1	・全職員が契約内容を把握できるよう、周知徹底に努めていきたい。
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・遠慮せずに意見や不満、苦情等を言っていたり、個人面談を行ったり、運営推進会議にも参加していただくなど、言いやすい環境づくりに努めている。・苦情窓口として、施設の窓口、公的窓口を重要事項の中に記載し、説明している。・いただいたご意見は、全職員で話し合い、改善に向けて取り組んでいる。	0	
		14 外部 評価 8	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	・面会時に状態や近況報告を行うほか、月に1回は通信を送付し、ケアプランの評価と共に暮らしぶりを報告している。必要に応じて電話等も活用している。また、個別のアルバムを準備しており、いつでも見られるようにしている。・金銭については立替金制度を行っている。	0	
		15 外部 評価 9	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・面会時、家族会、家族面談等にて意見をいただき、職員間で改善策を話し合っている。また、ケア担当者の評価をしていただくアンケートや事業所評価をしていただくアンケートも実施している。・苦情窓口として、施設の窓口、公的窓口を重要事項説明書の中に記載し、説明をしている。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・毎月のミーティングや毎日の申し送り時に意見や提案を聞く機会を設けており、出た意見は全体会議で管理者から運営者へ報告し、アドバイスをもらっている。・定期的に職員個人面談を実施しており、管理者が個別に話を聞く機会も設けている。また、気軽に意見を提案できるように、業務ノートを設置している。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・行事やイベントの際には職員数を増やすなど、状況に応じて勤務を調整している。・全職員が緊急時にも対応できるよう、2ユニット合同で勤務を組んでおり、協力体制に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・グループ全体で支援、協力していく体制であることを説明しており、他事業所との交換研修等も実施している。顔見知りの関係が築けることで、行事等の際も触れ合う機会が多く、安心感に繋がるように努めている。	0	
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価6項目・外部評価4項目	1	
	5 人材の育成と支援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	・募集に際して、年齢、性別、資格等を理由に採用対象から排除することはなく、採用に至る過程で1日体験を実施し、ホームの雰囲気を見てもらっている。・自己実現に向けた資格取得等の要望に応じ、勤務を調整するなどの配慮をしているほか、今年度よりキャリアラダーを構築させ、自己目標達成に向けた取り組みを支援している。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	・外部研修への参加や、2ヶ月に1回開催している法人主体の基礎研修にて人権研修を行っている。・毎月のリスクマネジメント対策委員会や、毎日の申し送り時にも話をしている。	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・役職に応じた研修プログラムや全職員を対象とした研修プログラムがあり、実施している。また、今年度よりキャリアラダーを構築させた。・事業所毎に担当科目を持ち、月に1回勉強会を開催しているほか、外部研修へも積極的に参加している。	0	
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・法人として、事業所交流会への参加や情報交換会の発足等ネットワーク作りを力を入れていることで他施設職員との交流も図れる機会がある。	1	・近隣の同業者との交流が計画されていたが実施できていない為、実施することでサービスの向上に努めていきたい。
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・野球の手ケット配布や、親睦会の開催等、福利厚生が充実している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・自己評価や面談を基に、昇給、昇格の規定を明確にし、また、キャリアラダーを構築させたことでより目的が明確となり、必要に応じた支援、育成を行うよう努めている。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	0	
安心と信頼 に向けた関係作り と支援		1	相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)	自己評価4項目・外部評価1項目	0	
	1	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・入居相談時にご本人と面会を行ったり、体験入居をしていただく中で、ご本人の話を聞く機会を設けており、本契約までに信頼関係が少しでも多く構築されるよう努めている。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・話を聞く機会を設けており、ホームの方針等もきちんとお伝えすることで信頼をいただけるよう努めている。・すぐに利用できない(待機等)場合は、定期的に手紙や電話連絡を行い、不安の把握と解消に努めている。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・入居相談時に現状を確認し、様々なサービスの情報提供に努めている。	0	
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・ホームの様子を説明し実際に見学や面会などを行ってから体験入居をしていただき、ご本人、ご家族と相談しながら本入居に繋げている。	0	
		2	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)	自己評価6項目・外部評価1項目	0	
	係り2 継続 これ 新たな 関係 づ き の 支 援 開 く	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・ご本人の生活リズムを大切にしながら、理念に掲げているように喜怒哀楽を共有し、助け合いながら生活を共にするといったお互い様の関係作りに努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・面会や面談時に近況報告を行い、ご家族からも意見をいただくなど情報交換を行うようにしており、共にご本人を支えていく支援者としての関係作りに努めている。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・面会時や通信を通して近況報告を行い、状況に応じて職員が間に入り会話をしたり、遠方のご家族とは電話で話す機会や、手紙を出し合う機会を作っている。・外出、行事などの際はご家族にも声をかけ、参加していただいている。	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・遠方の方には手紙を書く支援や、近隣の方にはホームの行事にも参加していただくなど、馴染みの方との関係が継続できるように努めている。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・ティータイム時やレクリエーションの際には孤立しないよう一緒にコミュニケーションを図り、楽しく過ごしていただけるよう努めている。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・関わりを必要とされる方が居られた場合は、行事の案内等、定期的に情報提供を行うことで関係性を継続していきたいと考えている。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	1	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
1	35 外部 評価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している		・日々の生活の中でアセスメントを取っており、ミーティング等ではご本人の立場に立って想いを話し合う機会を設け、ご本人の希望、要望の把握に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・ご本人、ご家族から伺ったこれまでの経過等を記録に残し、全職員が確認し把握できるように努めている。・居室には馴染みの物を持ち込み使用していただくなど、これまでの生活により近い環境で生活していただけるよう努めている。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・日々の状況を記録に残すほか、申し送り等で情報を把握するよう努めている。また、個人申し送りを活用することで、ケアのポイント等も職員間で共有できるようにしている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・日々のアセスメントを基に課題分析を行い、ご本人、ご家族、職員とで面談やケアカンファレンスを通して介護計画を作成している。	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・毎月評価を行い、3ヶ月、6ヶ月毎に見直しをしている。・入院や身体機能の低下等、状態変化が見られた場合は、ご本人、ご家族、主治医等を交えて話し合い、評価、変更を行っている。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・日頃の状況を介護記録に残すことはもちろん、気づきやケアのポイント等は個人申し送りシートに記入することで、職員間の情報共有に努め、介護計画の見直しに活かしている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・ご入居者の状況に応じ、その都度対応できるよう2ユニット全体で協力体制を整え支援を行っている。・併設事業所のレクリエーション参加等、ご要望に応じて対応している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	1	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・民生委員より公民館行事等への参加呼びかけをしてもらっており実施している。・自治防災組織と連携して防災活動に取り組むなど日頃から協力体制をお願いしている。	0	
	4		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	・現行では、他サービスの利用支援は行っていないが、情報交換は常に行っている。	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・2ヶ月に1回の運営推進会議への参加を呼びかける等、協力体制作りに努めている。	1	・成年後見制度についての説明会等を依頼予定だったが実施できていない為、実現に向けて取り組んでいく。
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・入居前からのかかりつけ医がある方は、入居後も利用を継続していただいている。・訪問診療では、月に2回の往診と看護師による健康管理のほか、24時間連絡体制を整えており、適切な医療を受けられるように支援している。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・協力医療機関の医師に多様な面で相談しており、指導や助言をいただいている。	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・往診、受診などの際に日頃の状況等を報告し助言をいただいている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・入院中も職員が面会に行き、状況把握に努めている。・ご家族、病院との情報交換も常に行い、早期退院に向けた対応を行っている。	0	
		49 外部 評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・指針を定めており入居契約時に説明、同意をいただいている。・ご家族、主治医とも話し合いの場を設け、全職員が方針を共有できるよう、ケアマニュアルも作成している。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・面談時等に現状と今後予測される状況等を話し合い、今後の変化に備えられるようにしている。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	・介護添書を使用し、情報提供を行うほか、行事へのお誘いなど関係を継続する体制を整えている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	4	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	3	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	0		
		52 外部 評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・これまでの生活環境の把握に努め、その方にあった、また必要に応じた言葉かけを行っている。・個人情報の取り扱いには注意しており、介護記録は個人名が分からないように布をかけるなど工夫している。	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・ご本人の希望や要望を日常生活の中で聞き取り、それを表現できる場面を作れるよう支援している。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・その日のご入居者の体調や、その方のペースに合わせて、起床、食事、入浴時間など対応している。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・馴染みのある美容室や、近所の美容室に出かけられるよう支援している。・お一人お一人に合わせて、お化粧品やマニキュアなどお洒落を楽しんでいただいている。	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・準備から片付けまで一緒に行っている。・食事中は職員も席につき、一緒に食事をしながら会話や音楽を流すなど、楽しく食事をしていただけるよう支援している。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・ご本人の好みを把握し、希望された時はもちろん、状況に応じて声かけをし、提供している。・事務所のリフレッシュボックスも活用し楽しんでいただいている。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・排泄チェック表を活用し、排泄パターンに合わせてトイレへの声かけを行っている。・パット、オムツが、その方に適したものであるかを日頃から職員同士で検討している。	0	
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・ご本人の希望に応じ、毎日入浴できるようにしている。入浴時間についても希望を伺い支援しているが、健康状態で職員が判断していることもある。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・お一人お一人に合わせて休息を促すなどの支援を行っている。・夜間、ぐっすり休んでいただけるように日中の活動を充実させるよう取り組んでいる。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		61 外部 評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・ご利用者の生活歴や現在の状況を把握し、得意な事、できる事は楽しみながら継続して行えるよう支援している。・外出や行事に参加することで、気分転換できるよう支援している。	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・財布を持っておられる方は、買物時にお好きなものを購入し、支払いをしていただいている。・金銭管理が難しい方には、職員と協力して支払いをしていただくことで、支払いの実感を得ていただくよう支援している。	0	
		63 外部 評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・ほぼ毎日、買物や散歩等の支援をしている。・散歩でなくても、屋上や玄関等で日光浴をされ、ゆっくりと時間を過ごす支援をしている。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・個人レク、外出レクなどの計画を、できるだけご入居者といっしょに立てるようにしており、楽しめるような機会を作っている。また、ご家族にも声をかけ、可能であれば参加していただいている。・他ユニットのご入居者と一緒に出かける機会もあり、地域行事にも積極的に参加し、季節感も感じてもらえるよう支援している。	0	
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・いつでも電話できるようにしており、手紙や贈り物が届いた時は、返事を書いてもらったり、電話をかけてもらうなどの支援もしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	・気軽に訪問してもらえるように行事等の案内や話題提供を日頃から行っている。・訪問された際は一緒におやつや食事をしていただくなど、ゆっくりと過ごしていただけるよう環境を整えている。また、家にいる気持ちを持っていただけるよう、湯のみなどはご入居者と同じにし、お客様にならないようにしている。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	2	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・抑制廃止委員会を設置しており、ミーティング等で日々の生活の中で抑制が行われていないかを話し合い、防止に努めると共に、拘束について正しく理解できるよう、外部研修、内部研修を行っている。・身体拘束だけでなく、言葉の抑制に対しても話し合いを行っている。	0		
		68 外部評価29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・玄関がオートロックになっているが、ご入居者が外出希望の際は付き添い、外出できる体制を整えている。・ユニット毎の玄関に鍵はなく、ユニット間の行き来は自由にできるようにしている。	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・職員間で連携して、所在や様子を常に把握するように努め、安全に配慮している。・夜間は夜勤者が責任を持って巡視を行い、安全に配慮している。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じた、危険を防ぐ取り組みをしている	・危険が感じられる物を使っていただく際は、必ず職員が付き添い、使用中の確認を行っている。・包丁や洗剤等も使用後はすぐに片付ける事を徹底することで、危険を防ぐようにしている。	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・緊急時のマニュアルをステーション内に掲示しており、随時確認できるようにしている。・職員それぞれが研修や勉強会で知識を学んでいると共に、大きな事故に繋がる前の気づきを増やせるよう、ヒヤリハットを活用し情報の共有に努めている。	1	・リスク委員を中心に今後更なる事故防止体制を整えていきたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・救命講習に参加したり、外部研修にて知識の習得に努めている。・地域の自治防災組織と協力して訓練や勉強会を実施している。	1	・今後も継続して知識の習得を行い、利用者の急変時や事故発生時に備えていきたい。
		73 外部 評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・定期的に避難訓練を実施し、ご入居者が安全に素早く避難できるよう取り組んでいる。・校区の防災訓練への参加や、地域の自治防災組織とも連携を図るなど、協力を得られるよう日々働きかけを行っている。	0	
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	・ご家族には現在の状況や、今後起こりうるリスクについても話し、理解してもらえよう働きかけている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75～81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	1	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・毎朝バイタル測定を行い、普段と違うと感じたら再検や医療連携の医師へ連絡をしている。また、記録に残すことで情報を共有し対応の周知に努めている。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・個人ファイルに薬の詳細を綴り、全職員が確認できるようにしている。・与薬時には必ず複数の職員で名前、日付、朝昼夕の確認を行い、服薬までを見届けている。また、服薬後も袋にて再確認をしている。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・排泄チェック表、介護記録により排便状況を把握し、毎日乳製品やプルーン、寒天等を取り入れている。また、体操を実施する事で、スムーズなお通じに繋がるよう努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・毎食後、口腔ケアを実施し口腔内の観察、保清を行っている。・定期的に義歯洗浄の日を設け、清潔保持に努めている。	0		
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・食事は個別に毎食チェックをしており、必要に応じて水分チェック表も活用しながら、状態に合わせた姿やメニューの提供をしている。・毎日の献立を表にして閲覧できるようにしており、バランスの良い食事提供を心がけている。	1	・今後、食事形態の見直しや、おおよそのカロリー把握等ができるよう、グループ内の栄養士等との連携を図っていきたい。	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	・感染に関するマニュアルがあり、管理者は入社日研修にて感染症についての説明を行っている。・外出後や食事前の手洗いとうがいの徹底、消毒を実施している。・感染対策委員会を設置し、ミーティング時に感染予防について話し合いをしている。	0		
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・台所の整理整頓と調理用具の消毒を徹底している。・食材はこまめに購入し、新鮮な食材を使用し、ストックの量にも気をつけ、早めに使い切るようにしている。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	1	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	1	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・1階玄関にはプランターを置き、植物を植えたり、場所が分かりやすいよう看板等も設置しているが、併設事業所や別会社との共有ぶぶんでもあり、親しみやすいとは言いがたい。・ユニットの玄関には、植物や手作りの置物を飾り、温かみのある雰囲気作りに努めている。	1	・入り口が分かりにくい為、プランター等を増やし、花が多くあることで明るく楽しい雰囲気作りを行う。	
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・季節の花を玄関やリビングに飾っている。・その時々のご入居者の状況に合わせて、テーブルやソファの位置を変更し気持ちよくくつろいでいただける環境を作っている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・リビング内には数箇所ソファを配置しており、仲の良いご入居者同士で集まったり、ゆっくりとくつろいでいただいたり居場所の確保をしている。	0		
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・居室には家族の写真や使い慣れた家具を持ち込んでいただき、安心して過ごしていただけるようにしている。・これまでの生活習慣でベッドを使われていなかった方には布団で休んでいただくなど、居心地よく暮らせるように工夫している。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・起床時や掃除の際は換気を行い、臭いがこもらないようにしている。・気温、湿度に応じてエアコンの温度調節をこまめに行い、加湿器等も利用して快適に過ごしていただけるようにしている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・車椅子の方でもゆったりと移動ができるリビングで、要所要所に手すりやソファ、椅子を設置することで、安全に歩ける環境を作っている。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・お一人お一人の分かる力を把握し、混乱や失敗を招くような表現をなくしていくよう努めている。・居室前には表札や目印となる物を使用し、ご自分の部屋だと分かるようにしている。	0		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・1階玄関にはプランターを置き、植物を育て楽しませられている。・天気の良い日は運動も兼ねて階段にて屋上に行き、日光浴を楽しませられている。	0				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	1	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。